

令和4年度 仙台市立向陽台中学校

学校教育活動に関するアンケートのまとめ

○生徒の皆さん・保護者の皆様・地域の皆様からの学校教育アンケートの結果分析及び対応策について



令和5年2月28日

保護者の皆様

仙台市立向陽台中学校
校長 廣島 利夫

三寒四温を繰り返し、春の足音が近づいていることを感じさせる今日、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、感染症等対策における制限の緩和が少しずつなされる中での本校の教育活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、昨年12月に「学校教育活動に関するアンケート」について、年末のご多用の中ご協力いただき、貴重なご意見を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。次のようにまとめましたのでご報告をさせていただきます。

本校では、保護者の皆様や生徒の皆さん、地域の皆様による学校教育活動アンケート結果と、教員の自己評価と合わせ、職員会議や今年度立ち上げた学校運営協議会等の中で検討を重ねながら、新年度の本校の学校教育のために工夫改善を図り、その実施に向け準備を進めているところです。

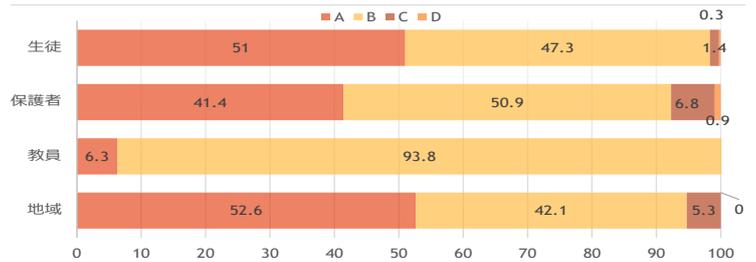
今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

令和4年度 向陽台中学校教育活動に関するアンケートから

(左からのエリア= A そう思う B ややそう思う C ややそう思わない D そう思わない を%で集約)

生徒の様子

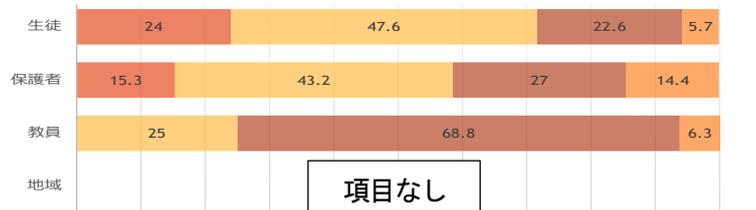
1) 生徒（お子さん・あなた）は、
周囲に対して思いやりや感謝の
気持ちを持って生活している。



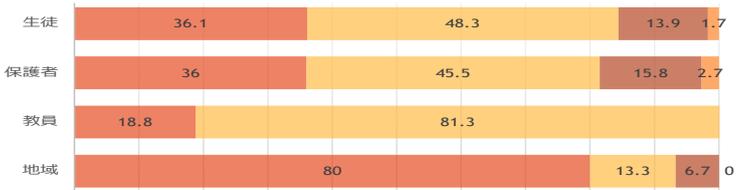
2) 生徒（お子さん・あなた）は、
「見通しを持って主体的に学ぶ」
ことを大切に、意欲的に学習に
取り組んでいる。



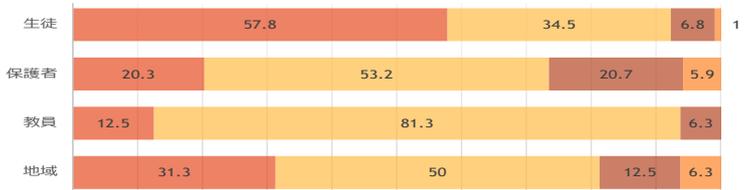
3) あなたは授業で学習したことを
もとに、家庭での学習に計画的に
取り組んでいる。



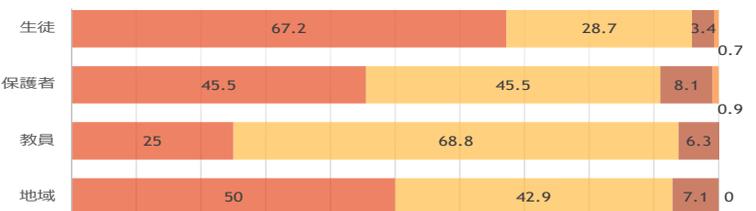
4) 生徒（お子さん・あなた）は、
様々な行事や活動に積極的に
取り組み、自らを向上させよう
としている。



5) 生徒（お子さん・あなた）は、
ネットマナーを理解した上で、
ネットやスマホ等を正しく使
用している。



6) 生徒（お子さん・あなた）は、
自分自身も他者も、かけがえ
のない大切な存在であることを
理解している。



[分析結果]

特に2)、3)の家庭での学習について、保護者の皆様や教員は生徒よりも更に取り組む必要があると感じていることがわかります。5)のスマホの正しい使用について、子どもと大人の捉え方に違いがあります。1年生は、正しい使い方をしていないと認識している生徒の割合が他学年より多いことを表しています。特に保護者の皆様には、生徒には正しい使用の仕方をぜひ身に付けてほしいという強い願いがあることがうかがえます。

[対応策]

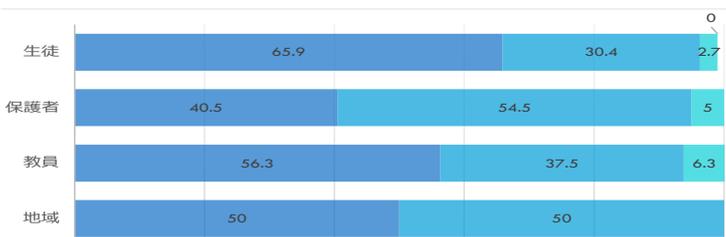
3)の家庭での学習が主体的な取組となるよう、各教科での取組事例の提示等次年度に向け検討しているところです。スマートフォン等の正しい使用については、学校では各学級や学年、様々な教育活動の中で、SNS上のいじめや人権侵害等につながる場合もあることを伝え、家庭のご協力を得ながら指導しております。情報を判断する力や情報モラルの向上を目指し、これからも継続して指導してまいります。家庭のご協力をいただきながら、引き続き10(テン)OFF運動も実践してまいります。

学校運営

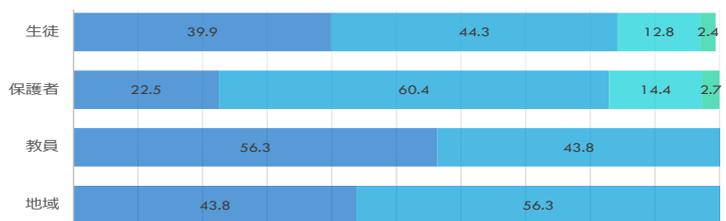
1) 学校は、学校の教育活動の様子や活動計画、進路等に関する情報を伝えている。



2) 学校は、緊急事態（災害・事故等）が起こったときの対応を適切に行っている。



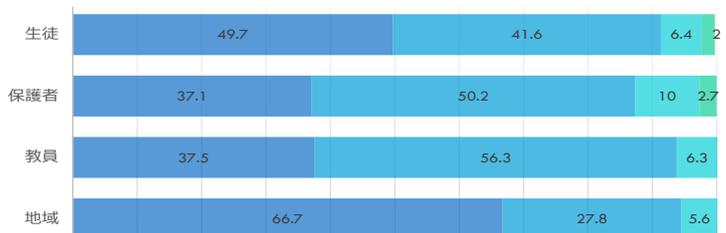
3) 学校は、いじめ問題に対し、未然防止や適切な対応を行っている。



4) 学校は、生徒の安全に配慮し、安全指導や設備の整備等を適切に行っている。



5) 学校は、感染拡大防止策を適切に行っている。



[分析結果]

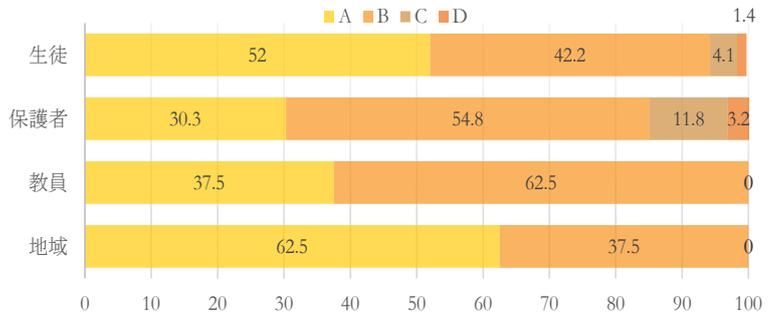
1)については、令和3年度に引き続き感染症拡大防止や災害による学校行事の開催日変更、学年や学級懇談の開催の機会減少が影響していると思われます。3)のいじめ問題、4)の安全な指導や設備、5)の感染症拡大防止策について、生徒及び保護者の皆様からC・D評価をいただいていることから、3年が経過したコロナ禍中、生徒や保護者の皆様は、依然として命に関わる不安や心配、危機感を抱えて学校生活を現在も送っているということを重く受け止めております。

[対応策]

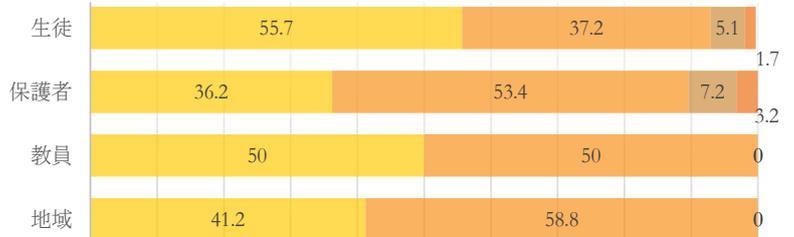
1)の学校行事の開催を変更せざるを得ない場合の方針を示し、可能な限り開催に向け準備してまいります。また、学校ホームページには学校の様子や進路についての情報がご家庭に届くよう引き続き掲載してまいります。併せて、学校だよりや学年・学級だより等を通じ、学校の様子を把握していただければと思います。コロナ禍中の生徒の安心・安全な学校生活のため、施設設備については、学校施設課や関係業者と速やかに進めております。命に関わる事故やSNS上を含めたいじめへの未然防止対策、その適切な対応、相談体制・安全指導の充実、感染症防止対策等を見直し、全教職員でしっかりと取り組んでまいります。

教職員

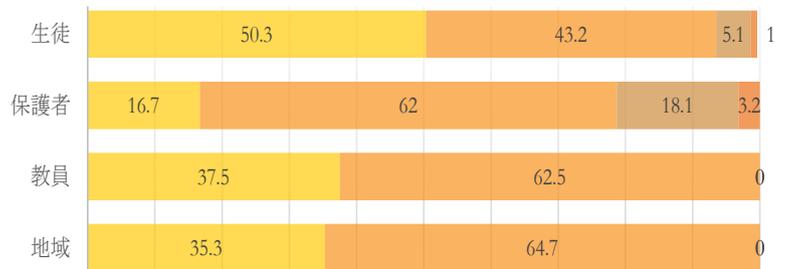
1) 先生は、生徒のことをよく理解しようと努めている。



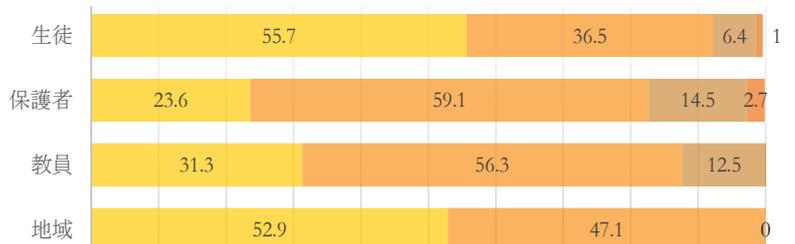
2) 先生は、生徒や保護者の相談に適切に応じている。



3) 先生は、生徒の学習について、効果的な指導と適切な評価をしている。



4) 先生は、学校生活全般（部活動や委員会も含む）に関して、適切に指導している。



2月28日付で配付いたしました4)の項目内容が、協働型学校評価の内容と同じになっていました。正しくはこのHPのとおりです。たいへん申し訳ございませんでした。

[分析結果]

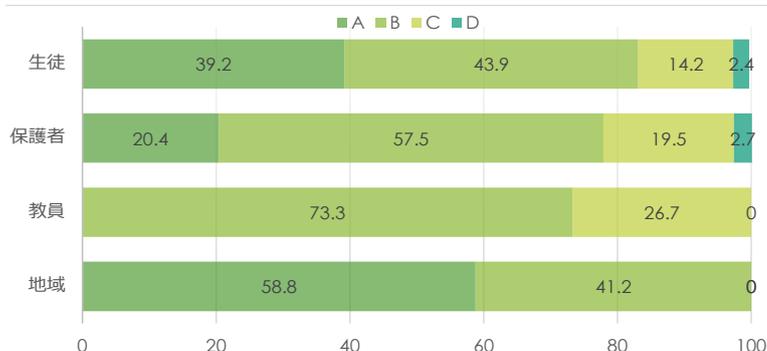
生徒、保護者・地域の皆様から、教員に対し厚い信頼をいただいております。たいへんありがたく思っております。一方、すべての項目にC・D評価をいただいております。また、アンケートの記述にも、教職員の対応や指導の在り方についてご意見やご要望を記していただいた保護者の方もいらっしゃいます。生徒理解が十分なされたうえでの対応や指導、生徒や保護者の皆様へ誠意を持って寄り添う姿勢、学習への効果的な指導や適切な評価の在り方について、更なる改善・向上を目指していかなければならないと受け止めております。

[対応策]

いただいたご意見やご要望を踏まえ、校内の課題研修や校外における研修等を通し、研鑽に励んでまいります。生徒の視点で寄り添い、生徒が安心して持てる力を発揮できるよう、きめ細やかであたたかい対応や指導、環境づくりにより一層努めてまいります。また、生徒や保護者の皆様からの相談等に対し、誠意を持って臨み、生徒と教職員とのよりよい信頼関係の構築に全力で取り組んでまいります。生徒がいきいきとした学校生活を送ることができるよう、教職員全員が一丸となって取り組んでまいります。

協働型学校評価

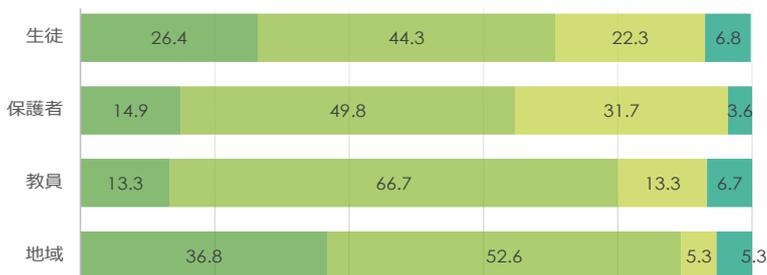
1) 生徒（お子さん・あなた）は、家族や仲間、地域の方々と積極的に交わり、周囲のために行動しようとしている。



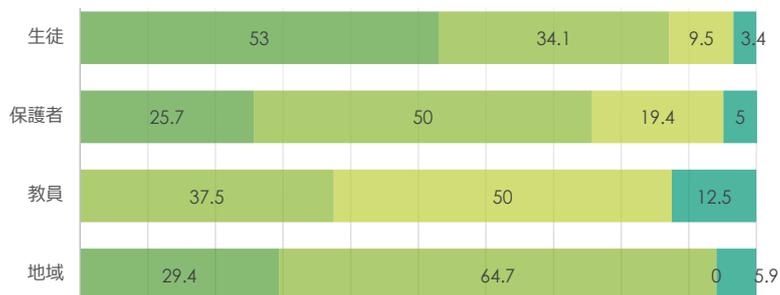
2) 生徒（あなた）は、実施予定の地域の行事に進んで参加しようとしている。
※「保護者、教員、地域」の項目なし



3) 地域は、あなたの活躍の場をできる限り設け、役割や活動を認め励ましてくれている。



4) 家庭では、ネットやスマホ等の使用についてのルールを決め、そのルールに従ってネットやスマホ等を使用している。



〔分析結果〕

1), 2), 3) については、コロナ禍中における諸活動の制限が少しずつ緩和されている中、町内会の活動や地域団体の活動に、積極的に参加している生徒がおります。地域の高齢の方が困っている場面で声を掛けるなど、地域の方からお知らせいただいております。学校としては本当にうれしく思います。人のため、地域のために尽くしたいという向中生の思いは、小学校で基盤が培われております。学校としてもそのような生徒の姿勢と成長に誇りを持っております。

4) については、スマホ等のルールを守らなければならないという認識はあるものの、「守れていない」という自覚を持つ生徒が出てきております。

〔対応策〕

アンケートの自由記述では、生徒からは「挨拶が大切である」「地域の活動に参加したい」という内容が多くありました。地域の方々からも、中学生の挨拶や地域の方への声掛けについて、お褒めの言葉をいただく機会が多いです。コロナ禍前よりも接する機会が失われ、地域とのつながりがますます薄れていくのではないかと、生徒や地域の方からの感想がございました。12月に発足した学校運営協議会を通して、生徒が地域の活動に参加できる機会を可能な限り持つよう話し合いを進めております。4)については、「生徒の様子」の5)と同様ですが、Chromebookの貴重な文房具としての活用に併せ、情報機器の正しい使い方について令和5年度に向け指導してまいります。

[まとめ]【よりよい学校、よりよい仲間づくりをするためのアイデア、相談してみたいこと、話し合いたいことについて】

○「あいさつがより活発になれば良いと思う」「コロナ禍の中で難しいかもしれないが、学校生活の中で人ときちんとコミュニケーションをとることだと思う」という生徒の意見が多くありました。中には、「あいさつを増やそうという取り組みをしているけど、別のことに力を入れたほうが良いと思う。なぜなら、あいさつ運動をしても思ったような結果が得られていないように思える。他の活動を考えることが必要なのではないか」という意見もありました。また、「周りのみんなから信頼されるように、場に応じた適切な行動を日頃から心がける」「生徒や先生が一人一人考え、学校全体でこの学校をより良くするための行動をしなければならぬ。考えや気持ちを互いに理解し尊重しあい学校生活をしていくことが大切だと思います」「人と人が、互いに相手のことを考えながら生活することでより良い学校ができると思います」と、自分自身の行動や言動を客観的に見ることの必要性、相手を理解しようとする努力や尊重すること等、人との関わりについて大切に考えている意見がほとんどでした。今年度も、「生徒の様子」の項目1)「周囲に対して思いやりや感謝の気持ちを持って生活している」や項目6)「自分自身も他者も、かけがえのない大切な存在であることを理解している。」においてのA(そう思う)B(ややそう思う)を合わせた評価は、生徒、保護者、教員といずれも高い評価となっていました。一方でC(ややそう思わない)やD(そう思わない)の評価もわずかながらあるのも事実です。

よりよい学校づくり、よりよい仲間づくりにおいて、「人との関わり」、「相手を思いやる・尊重する」ことが大切である、と生徒は認識していることが分かりました。生徒も教職員もともに考えながら、よりよい学校、よりよい仲間づくりを目指し、教育活動に取り組んでまいります。

○教職員の生徒に対する言動や態度について、厳しいご意見をいただきました。全教職員には、打ち合わせや随時実施している個人面談、職員会議、校内外における研修を通して振り返り、生徒理解を深め、改善を図っているところです。今後も、教職員全員が生徒の視点で寄り添い、「気づく・思いやる・あたたかく」を実践している大人の模範となるよう、更に改善に努めていく所存です。

また、コロナ禍における学年閉鎖等における学習体制が万全でなかった点について、今後、不測の事態にも学習の機会をできる限り確保できるよう努めてまいります。

○「協働型学校評価」では、項目1)「生徒は、家族や仲間、地域の方々と積極的に交わり、周囲のために行動しようとしている」点において、生徒の評価は8割を超えており、「人のために何か役に立ちたい」思いが強いことがうかがえます。実際に、地域の方から、困っているところを本校生徒が声を掛けサポートをさせていただいたことや、町内会における向中生の活動についてご報告をいただいております。学校として、たいへん喜ばしく、誇りに思っております。

これが、向陽台の子どもたちのすばらしい点であり、これからも更に伸ばしていきたい点でもあります。「気づく・思いやる・あたたかく」を合言葉に、学校として、よりよい学校、よりよい仲間づくりにつながる教育活動を展開していきたいと考えております。

本校は令和4年12月に、向陽台小学校と「向陽台学校運営協議会」を立ち上げました。地域での活動や、小中連携における「小中学校9年間を見据えた向陽台学区の育てたい子ども像」を「向陽台の子どもよさ」を中心に協議検討した結果、「人とかがわり、地域を大切にする向陽台の子」となりました。可能な限り、地域の活動や各学校で可能なボランティア活動等の環境を整え、学区を挙げて取り組んでまいります。

○生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、学校運営協議会の委員の皆様から、貴重なご意見をいただきました。心より感謝申し上げます。